

# 県議選那珂郡選挙区についての日本共産党と

## 「東海第2原発の再稼働を止める会」の話し合いについて

2014年8月28日 日本共産党茨城県常任委員会

8月18日、「東海第2原発の再稼働を止める会」（以下「止める会」）から日本共産党東海村議団に対して、今年12月に行われる県議選那珂郡選挙区の立候補予定者を推薦してほしいとの要請があり、日本共産党茨城北部地区委員会と「止める会」の双方の代表で26日話し合いをおこないました。

日本共産党は、国民的な運動では、一致点にもとづく共同・「一点共闘」を発展させるために誠実に力を尽くしてきました。国会でも地方議会でも、国民の願いにこたえる方向で一致点が生まれたときには、それが部分的なものであっても他党との共同を追求し、現実政治を動かすために全力をあげています。

原発問題では「即時廃炉」「原発ゼロの日本」を求め、再稼働反対の一点でも共同をすすめてきました。「NO NUKES DAY」の一大共同行動にもとりくんできました。TPP（環太平洋連携協定）からの撤退、消費税増税反対、「憲法を守れ」などさまざまな課題で「一点共闘」を誠実に進めてきました。

いま大事なことは、これらの一致点での世論と運動、たたかいを、思想・信条の違い、立場の違いを超えて発展させ、暴走する安倍政権を包囲することです。「一点共同」の発展が、合流し日本の政治を動かす大きな力になると確信しています。

しかし、今回の推薦の要請は、選挙協力を求めるもので、議会内外での国民運動での共同とは性格のことなるものです。「止める会」は県議会に議席を占めることを目的にする政治団体であり、日本共産党との政党間協力の要請になります。県議会では原発だけでなく県政のあらゆる問題での態度が問われます。したがって「県政の基本問題での政策的一致」と「共同の意思」、それにもとづく候補者の擁立であってこそ、政党として有権者への責任を果たすことができます。「止める会」の現職議員は、県の予算・決算をはじめ知事提案議案にほとんど賛成しており、日本共産党との間に「県政の基本問題」での協力の条件は存在していません。

日本共産党から「特定政党に属さない『無所属』での立候補ならどういう協力ができるかの協議の対象になりうる」と話しましたが、「止める会」は「公認候補で出馬する」とのことでした。

以上